



さくら

令和3年1月7日号

桜小学校長 発行

<http://sakura-e.yatomi-schoolnet.jp/>

一年の計は元旦にあり！



明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

さて、新年になりました。冬休みはいかがお過ごしでしたか？ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため例年と違う年末年始だったこととありますが、お子様とともに、充実した休みを過ごすことができましたでしょうか？

「一年の計は元旦にあり」ということわざは、新年によく聞きます。その意味は、一年間の目標や計画は、元旦に決めるのが良いということ、何事も最初の計画や準備が大切であり、初めの計画ができていないと物事はうまくいかないという意味のことわざにもなっています。元旦の過ごし方で、一年が決まるともいわれています。

一年の始まりに目標を決めることは、本当に大切です。目標を決めないと、今年も何の成長もなく、去年と同じ一年になってしまいます。ぜひお子様とともに「今年こそは！」と、年始めに一年の目標を決めて、新しい一歩を歩み出して下さい！

昨年同様、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、さまざまなお願いをさせていただくと思いますが、深いご理解と温かいご協力をいただきますようお願いいたします。



夜から歩きはじめました。賢いねずみは、丑(牛)が前日の夜から歩きはじめるだろうと予想していたので、丑(牛)に乗って丑(牛)と一緒に出発します。前日から出発をしていた丑(牛)は他の動物より先に神様の所にたどりついたのですが、到着寸前にねずみが飛び出して一番に挨拶をしたことから、最初にねずみ、次に丑(牛)という順番となりました。その後、虎(とら)→兎(うさぎ)→龍(りゅう)→蛇(へび)→馬(うま)→羊(ひつじ)→猿(さる)→鳥(にわとり)→犬(いぬ)→猪(いのしし)の順に動物たちが到着し、12のリーダーが決まりました。

この話を聞いて、今年の干支である「丑(牛)」について、皆さんはどう思いましたか？私は、**「自分のことをよく知っていて、きちんと準備をして早に出かけた」「賢いネズミに1番を取られても怒ったりいじけたりすることなく、堂々としていた」**丑(牛)は、すごいなと思いました。

そこで、3学期は二つ(笑顔と準備)の話をしていきます。一つ目は、笑顔の話です。4月から話をしていますが、学年が終わる3月に桜小学校がたくさんの笑顔であふれるように、一人一人が引き続き笑顔の種を育ててください。

二つ目は、先ほど話した今年の干支である丑(牛)のように、自分がどのようなタイプなのかをよく考えて、次の学年の準備をしてください。時間のかかる人がいるかもしれませんが、しかしそれは短所ではありません。自分を分析し、自分にとって一番良い方法を考えることができれば、それは特性に変わります。他人と同じ方法である必要はありません。周りを気にすることなく、自分を見つめ直し、自分に一番合った方法で次の学年の準備をしてください。

さあ、3学期が始まります。3学期は、1年の中でも一番短い学期ですが、次の学年につながっていく大切な学期です。特に6年生の皆さんには、最大の行事である卒業式が待っています。中学校へ進学するにあたって、学習面や生活面において、自分自身のためにも下級生のためにも、この桜小学校で気持ちを引き締めて、もうひと踏ん張りしてください。3学期も残すところ、6年生はあと49日、1年生から5年生までは52日です。この残りの日々を次の学年への準備期間だと思い、その時その時にやるべきことをきちんとやることを心掛けて生活してください。

1/7の校長講話より

今日は、2021年が始まって最初のお話なので、今年の干支にちなんだお話をします。皆さん、今年の干支は何か知っていますか？そうです。「丑(牛)」です。では、この干支は、どのように決まったのでしょうか？諸説ありますが、一つのお話をします。

大昔のこと、神様が、「1月1日元旦の朝に挨拶に来た12番目までを、毎年交代でリーダーにして仕事をしてもらおう」と言いました。動物たちは、我こそが一番になろうと思い、前日の夜・当日の早朝から、それぞれ神様のもとを目指します。このとき、**丑(牛)は自分が歩くのが遅いことを知っていたため、前日の**